

CB
Transmittal
with...

1/11/48

獨立重砲第百大隊第中隊第小隊誌

陣中日誌

自昭和三十年二月一日
至昭和三十年五月三十一日

27516

WOCH
6520

Serial #1148

RS 77946
Cincpac-Cincpoa
B- 14128
Okinawa 2 May 48

二月一日〇九〇〇ヨリ船空台觀測所附近ニ於テ中隊長統裁、下
木曜日中隊附將校、海軍第九砲台指揮官、中隊長附屬下官
晴後雨ニ對スル飛行場射撃、現地教育ヲナシ一六〇〇終了ス
船空台國頭支隊長以下第二大隊長各中隊長來臨ス
午前中ハ偽裝並ニ陣地構築ヲナシ午後ハ一敏ニ休養ス
現在員中隊長以下九六名

佐藤軍曹業務連絡、為那霸ニ在リ
山崎兵長支隊伐採作業援助、為伊豆味ニ在リ
田中兵長以下八名衛兵トシテ新行橋ニ在リ
富田一等兵入院中

山

二月二日各作業場共前日、作業ヲ續行ス
金曜日一三〇。古賀中尉八真部山ト満名ト渡久地ト真部山ヲ
雨後曇ニ巡察シ一八〇。歸隊ス

船窪台一〇〇中隊長ハ伊野波ニ赴キ部落幹部ヲ集メ作業
協力方法其ノ他ニツキ民指導ヲナシ歸隊ス

二月三日 朝禮ニ際シ中隊長ハ試験射撃ノ實施ニ関シ左ノ如ク

土曜日 命令ヲ下達ス

曇時々雨 平作命第十三號

船窪台

平山隊命令

二月三日〇三〇

試験射撃

一中隊ハ明日ヲ期シ左分隊ノ試験射撃ヲ實施セントス

實施中隊

二戰砲隊ハ明日一三〇〇迄ニ邊石地西側台地ニ於テ左分

命令

隊ノ發射準備ヲ完了スベシ

三中隊列長ハ明日一三〇〇迄ニ尖銳彈四發ヲ砲側ニ整

備スルノ外平作命第七號第五項ノ任務ニ服スベシ

四射撃當日人員部署平作命第七號別紙ニ準ズ

五戰砲隊長ハ試験射撃終了セバ遂次火砲ヲ船窪台ニ

集結スベシ

六本期間特ニ對空警戒、遮蔽偽裝ヲ強化スベシ

隊長 平山大尉

戰砲隊左分隊ハ河村中尉指揮ノ下ニ新行橋ニ在リテ射撃

準備ヲ實施ス

其ノ他ハ陣地構築作業ヲ實施ス

中隊長ハ午後ヨリ射撃準備ヲ指導ス

一三〇〇上山曹長ハ事務連絡ノ爲那霸ニ出發ス

試験射撃準備ハ午前中順調ニ進メラレツアリシモ復

坐機空氣室革環腐蝕セル爲之ヲ更新シタルガ氣

蓄罐氣圧不足ノ爲規定氣圧タル一〇氣圧ヲ充填

スルヲ得ズシテ九〇氣圧ヲ充填シタルノミ

中隊長ハ火砲ノ保全ヲ顧慮シ氣蓄罐補充セテレ

規定氣圧ノ補充ヲ終ル迄再度試験射撃ヲ延期スル

再度試験射
撃延期理由

如ク決心シ放列撤去ヲナサシム
現在員古賀中尉以下七六名

中隊長及河村中尉以下戦砲隊ニ〇名新行橋ニ在リ
土山曹長事務連絡ノ為那覇ニ出發途中ニ在リ
佐藤軍曹業務連絡ノ為那覇ヨリ歸途ニ在リ
中澤兵長以下八名衛兵トシテ新行橋ニ在リ
富田一等兵入院中

平

二月四日〇三〇〇佐藤軍曹以下三名那覇ヨリ現地修理班(牽引車
日曜日修理)三名ヲ伴ヒ歸隊ス

曷時々雨〇三三〇中隊長及河村中尉以下戦砲隊ハ撤收終リ火砲
船空台監視ノタメ松田上等兵以下五名ヲ残置シ新行橋ヨリ歸
隊左ノ作命ヲ下達ス
平作命第十四號

試験射撃

平山隊命令

二月四日〇七三〇
船空台

再延期ノ
中隊命令
一 中隊ハ都合ニ依リ再度試験射撃ヲ延期シ陣地構築
ヲ再興セントス

二 戦砲隊ハ火砲ヲ現態勢ノ儘新行橋ニ分散偽装シテ
ル後船空台ニ於ケル陣地構築ヲ再興シ特ニ左分隊
陣地ノ作業進捗ヲ圖ルベシ

三 氣蓄罐氣圧ノ補充ヲ行ツテ試験射撃ヲ實施ス
ベキモ其ノ時機ハ別命ス

四 土山曹長ハ氣蓄罐氣圧補充作業ヲ促進スル如ク
大隊紋列長ニ連絡スベシ

隊長 平山大尉

一四〇〇高田准尉以下三名業務連絡ノ為嘉手納ニ出發ス
一四〇〇中隊長ハ狀況報告ノ為伊豆味第ニ歩兵隊長ノ
許ニ赴キ一九〇〇歸隊ス

大砲機構一部
改正ニ関スル
意見

八九式十五種加農復坐機ハ更ニ低氣圧ニテモ作用
シ得ル如ク制式ヲ改正スルヲ要ス
戰陣ニ在リテハ通常氣蓄罐氣圧ノ補充ハ困難
ナルベク現在筭三十二軍管下ニ於テステラ空氣圧縮
車ハ一基アルニ過ギズ之モ現在故障ニテ修理中ノ
狀況ニ在リテニ百氣圧ノ高圧ヲ充填スベキ空氣
圧縮機ハ現在沖繩本島ニハナキ現況ナリ
此ノ狀態ハ單ニ沖繩島ノミナラズ各戰場共同様
ナルベク空氣復坐機ニ高圧ヲ使用スルハ補充ノ
關係ヨリ適當ナラズト思考セラル
四五式二十四糎榴彈砲復坐機ノ如ク基準初張力
二十四氣圧程度ナラバ敢テ氣蓄罐ニヨラズトモ手
押空氣圧縮ポンプヲニテ氣圧補充十分可能ナルベク
平衡機氣圧同様五五氣圧程度ニ低下シ得ル

如ク構造セバ陣中資材不十分ノ場合ニ於テ輕易ニ
射撃準備ヲナシ得ベシ又斯ノ如キ特種資材(高圧
氣蓄罐ニシテ消耗性ノモノ)ヲ所持スル部隊ニ
在リテハ大隊級列ニ之ガ補充ノ資材ヲ裝備スル
如クセバ作戰遂行上大イニ有利ナルベシ

現在員中隊長以下九一名

高田准尉以下三名事務連絡ノ爲嘉手納ニ在リ
土山曹長事務連絡ノ爲那覇ニ在リ
江崎一等兵以下二名器械監視ノ爲邊名地ニ在リ
山崎兵長支隊代探作業援助ノ爲伊豆味ニ在リ
中澤兵長以下八名衛兵トシテ新行橋ニ在リ
富田一等兵入院中

山

二月五日 佐藤軍曹以下五名並ニ相模遣兵廠現地修理班ハ邊石地
月曜日ニ在リテ牽引車ノ修理ヲ實施ス

曇 一〇〇中隊長ハ小林上等兵ヲ伴ヒ第二歩兵隊長ニ隨
船登台 行シテ伊江島ニ赴ク

前地及陣地測地ノ為下達セル中隊命令左ノ如シ
平作命第十五號

平山 隊命令

一 中隊ハ陸地測量部三角点成果ニ連絡シ前地及陣地ノ
測地ヲ實施セントス

二 指揮小隊長ハ觀測掛下士官及觀測手ノ主カヲ指揮シ
明二月六日ヨリ測地準備ニ着手シ八日ヨリ主カヲ以テ

伊江島ニ到リ一部ヲ以テ本部半島ニ於テ前地及陣地ノ
測地ニ任ジ二月十五日迄ニ之ヲ完了スベシ

三 飛行場ノ測地ニ方リテハ第五〇飛行場大隊ニ連絡スベシ

二月五日一〇三〇
船登台

四 座標換算ノ範圍ハ仲宗根一吳我山一安和以西ノ
地區(伊江島ヲ含ム)トシ座標ニ加フベキ數値ハXY

共二〇〇〇〇トス

五 設定スベキ基準点左ノ如シ

前地一伊江城山 東飛行場 西飛行場 燈台陣地

一屋比久 237高地 黒嶽 船登台

六 余ハ觀測手一ヲ伴ヒ本五日先行シテ伊江島ニ在リ

隊長 平山 大尉

古賀中尉以下ハ測地ニ関スル現地踏査ヲ實施ス

一五〇〇高田准尉以下三名嘉嘉手納ヨリ歸隊ス

現在員 河村中尉以下九七名

中隊長以下二名伊江島ニ於テ斯式九糧加農(伊江

島地區隊ニ配屬ノ分)ノ陣地偵察ヲナシタル後

地區隊本部ニ在リ

高田准尉以下五名牽引車修理ノ爲邊石地ニ在リ
土山曹長ハ那霸大隊本部ニ在リ
山崎兵長支隊伐採隊要員トシテ伊豆味ニ在リ
中澤兵長以下八名衛兵トシテ新行橋ニ在リ
富田一等兵入院中

(平)

二月六日 各作業場共前日ノ作業ヲ續行中

火曜日 古賀中尉以下觀測手ハ造標ニ任ズ

晴後雨 桃園西北端△七三・九二(陸地測量部二等三角点)ニ造標

船産台 ノ豫定ナリシガ前駐屯部隊タル獨混第十五聯隊ノ作

業隊カ基準点標石ヲ掘返シ除去シアリタル爲正確ナ

ル位置ヲ決定スル能ハズ

量用機噐等ノ陸地測量部三角点標石ヲ掘開除去セル部隊アリトハ非

保全ニ関スル見常識モ甚ダシク陸軍一般ノ此種物件ニ関スル関心認識之シ

キヲ察セテ遺憾ナリ幹部ノ此種知識ノ向上監
督指導ノ適切ヲ必要トス
砲兵測地ニ方リテハ勿論將來ニ於テ地形圖ノ補
修等ヲ考フルモ基準点ノ亡失ハ多大ノ障碍タリ
自隊ニ直接関係ナキ一般施設ト雖モ之ヲ保全スル
ノ着意ヲ培テスルヲ要ス

二月七日 邊石地ニ在リテ作業中ナリシ牽引車現地修理班ハ作

水曜日 業終了シ一三〇〇高田准尉之ヲ輸送シ那霸ニ出發ス

曇時々雨 一四〇〇土山曹長歸隊ス

船産台 現在員河村中尉以下九二名

中隊長以下二名伊江島ニ在リテ測地ニ任ジ地區

隊本部ニ在リ

高田准尉以下三名那霸ニ在リ

山崎兵長 中澤兵長以下八名 富田一等兵昨日同シ

平

二月八日 〇七〇〇河村中尉指揮ノ下ニ 大詔奉讀式ヲ與テ行ス

木曜日 各小隊前日ノ作業ヲ續行ス

曇時々雨 中隊長ハ伊江島ニ在リ 伊江島地區隊長第五〇飛行

船空台場大隊長ト會同シ伊江島ニ於ケル戦闘特ニ地上戦闘

下本部半島ヨリスル十五加ノ彈丸先ノ協調等ニ就キ

協定ス

平

二月九日 各小隊共前日ノ作業ヲ續行ス

金曜日 中隊長ハ伊江島ニ在リテ協定ノ補備ヲ行ヒタル後一六〇〇

曇時々雨 歸隊ス

船空台一四〇〇高田准尉以下三名那霸ヨリ歸隊ス

新行橋陣地ニ格納シアル彈藥糧秣ハ遂次船空台ニ

一字訂正

集結シツツアリ

現在員中隊長以下九七名

中澤兵長以下八名衛兵トシテ新行橋ニ在リ

山崎兵長伊豆味ニ在リ

富田一等兵入院中

平

二月十日 天候一時恢復セルガ如クシテ新行橋ニ在リシ火炮ヲ遂次

土曜日 船空台ニ集結ヲ開始セルモ本道依然トシテ泥濘著

曇時々雨 シク遂次道路上ニ分散偽装セリ

船空台一五〇〇字作命第三ニ號ヲ受領シ左ノ作命ヲ下達ス

道路補修ニ 平作命第十六號

関スル中隊 平山隊命令

命令 一國頭支隊ハ管内主要道路補修ノ促進ヲ圖ルト共ニ

之ガ維持ヲ強化スルノ意圖ヲ有ス

二 中隊ハ渡久地 伊豆味道ニ對スル縣委託作業ノ監
督指導ニ任ゼントス

三 軍ヨリ縣ニ委託セル道路工事要兵拔萃左ノ如シ

- 1 期 間 自昭和二十年一月 但前半補修完了
至昭和二十年六月 後半ハ維持トス
- 2 補修要未度

自自動車交通ニ支障ナカラシムルヲ目途トス

イ 路面地均 修繕及砂利敷

ロ 橋梁ノ補強及修繕

ハ 待避所ノ設置 敷砂利

四 古賀中尉ハ右作業實施ノ細部ニ関シ右護國頭
土木工區事務所長ト協定ノ上成果ヲ二月十七日迄ニ
筆記報告スベシ

五 余ハ船登台ニ在リ

隊長 平山 大尉

連絡所設置

ニ關スル中隊

命令

本道附近ニ兵々分散セル軍需品ノ監視竝ニ對外連絡ノ
適確円滑ヲ期スル爲連絡所ヲ設置スルニ決心シ左ノ
命令ヲ下達シ早速着手ス
平作命第十七號

平山 隊命令

二月十日 一四〇〇

中隊ハ當分ノ間滿名ニ連絡所ヲ設置シ集積糧秣兵器
築城資材等ノ監視及對外連絡ノ適確円滑ヲ期セントス
ニ指揮小隊ハ主カヲ以テ連絡所ノ設備ニ任ジ明十日中ニ之
ヲ完成スベシ

連絡所一 中隊事務室間ノ連絡ハ中隊事務室一 沖繩
第九砲台間ヨリ引込ミ三所一系トナスベシ

三 連絡所勤務員ノ編成ハ兵長(上等兵)以下四名(狀况ニ
依リ)トシ二月十一日〇〇以降服務スベシ

四 細部ニ関シテハ古賀中尉ヲシテ指示セシム

五新行橋衛兵ハ二月十日〇八〇〇以降其ノ編成ヲ解キ原
所屬ニ復歸スベシ

火砲ノ新行橋撤收ニ伴ヒ新行橋衛兵ハ之ヲ撤收シ殘
置彈藥監視ノ爲ニ監視兵ヲ配置ス



二月十日〇六三〇演習非常召集ヲ行ヒ皇紀二千六百五年ノ紀元
日曜日節ニ方リ中隊長指揮ノ下ニ 皇居ヲ遙拜シ情勢益々
緊迫セルノ秋ニ捨身必死御指ダレノ本分ヲ完遂セシトテ期ス
船産台昨日ノ字作命第三四號ニ基キ左ノ中隊命令ヲ下達ス
現作業ヲ 平作命第十八號

中止シ新作 平 山 隊 命 令
二月十日〇六三〇
業部署ニ 一級戰略態勢ヨリ觀察シ敵ハ強カ且新ナル作戰企
圖ト實力トヲ有シ二月下旬以降來攻ノ算大ナリ

國頭支隊ハ緊迫情勢ニ鑑ミ速カニ作戰準備ヲ完成ス
ルノ企圖ヲ有ス

二中隊ハ明十二日ヨリ現作業部署ヲ変更シテ晝夜兼
行ニ月下旬中ニ築城ヲ完成シ之ヲ基盤トスル戰闘
特ニ射撃・對戰車肉攻・挺身奇襲・斬込隊ノ組織
及訓練ニ徹セントス

三各小隊ハ別紙人員部署ニ基キ全精魂ヲ傾注シ萬難
ヲ排シテ二月末日迄ニ之ヲ完成セシムベシ
四金井軍曹ハ之ニ連繫シ三月末日迄ニ勉メテ多クノ
急造爆雷ヲ製造スベシ

隊長 平山 大尉

午前中一級ニ偽裝ノ補備ヲ行ヒ午後ハ休養ス
一一三〇中隊長及古賀中尉ハ兵寮ノ開所式ニ参加ス
一三〇〇ヨリ下士官以上集合シ中隊長新作業部署

ニ基ク細部ノ指示ヲナス

一七〇〇要旨命令電話アリ左ノ命令ヲ下達ス
平作命第十九號(早作命第三五號)

平山隊命令

一國頭支隊ハ渡久地埠頭ニ於テ糧秣ノ揚陸ヲ實施セラル

ニ中隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ協力セントス

三指揮小隊ヨリ兵六、戰砲隊及銃列ヨリ各々兵七名ヲ差出シ田中兵長ノ指揮ヲ受ケシムベシ

四田中兵長ハ前項人員ヲ併セ指揮シ本十日一八〇〇迄

ニ渡久地埠頭ニ至リ第二歩兵隊三津家中尉ノ指揮ヲ受ケベシ

五余ハ船倉台ニ在リ

隊長 平山大尉

田中兵長以下二〇名一七三〇出發シ作命第十九號ノ接
助ヲナシニ二三〇歸隊ス

二月十二日 本日ヨリ新ナル部署ノ下作業ニ着手ス

月曜日 〇八〇〇ヨリ中隊長ハ陣地一巡ノ後駐屯地會報出席ス

雨 ニ連絡ノ爲伊豆味ニ赴ク

船倉台 現在員河村中尉以下九四名

中隊長ハ伊豆味ニ在リ

新井軍曹以下七名木杖伐採ノ爲伊豆味ニ在リ

山崎兵長支隊伐採隊要員トシテ依然伊豆味ニ在リ

田中兵長以下三名満石連絡所ニ在リ

宮岡上等兵以下二名新行橋ニ在リ

富田一等兵入院中

(平)

二月十三日一級ニ作業ヲ續行ス

火曜日古賀中尉以下六名名護仁賀物廠ニ連絡並ニ糧秣受領^雨 領ニ赴ク

船陸合中隊長ハ一七〇伊豆味ヨリ歸隊ス

軍情報左ノ軍情報ヲ受領ス

一十四日〇五三〇以降南西諸島全地區内銃戰 備ニ移轉スベシ

二第三十二軍司令官

三敵機十四日早朝以降攻撃ノ算極メテ大ナリ

二二五六左ノ軍情報ヲ受領ス

球參情報第三八二號

一敵機動部隊ハ「ウレシ」方面ガテズ「アドミラルテ」及「マリアナ」群島方面ヨリモ出撃

ニ宇連加

モノノ如ク敵ノ大攻勢切迫セルノ徴アリ

宇作命第三六號ニ基キ下達セル中隊命令左ノ如シ
戰備増強 平作命第三十號

平山 隊命令

二月十三日一九〇〇

隊命令

一情報ニ依レバ敵機動部隊ハ十一日午後「ウレシ」ヲ發

シ南西諸島方面ニ迂迴シツツアレモノノ如ク南西諸

島方面ニ對スル新作戦ノ前提タル算ナリ

二中隊ハ速カニ戰備ノ完了ヲ圖ルト共ニ砲爆撃ニ對

シ一兵一物ト雖モ損耗セザル如ク掩蔽分散偽裝

措置ノ徹底ヲ期セントス

三各小隊ハ作業場ニ於ケル偽裝措置ヲ徹底スルト

共ニ兵器糧秣資材ノ掩蔽ノ萬全ヲ期スベシ

四新行橋監視兵ハ坑道入口ノ偽裝ニ萬全ヲ期スベシ

五連絡所勤務員ハ重枚料ノ遮敵偽ヲ補備スベシ

隊長 平山大尉

平

二月十四日 情勢近迫セルノ感アリ河村中尉以下八一四〇ヨリ大砲

水曜日ノ陣地ハノ收容ヲ開始シ右分隊一門分及左分隊砲身

雨

車ノ運搬ヲ實施シニ二〇〇完了ス
渡久地埠頭ニ於テ糧秣(米)二〇〇袋ヲ受領セルモ

自働貨車運行不能(道路泥濘化シタル爲)ナルヲ以

テ満石連絡所附近ニ集積セリ

軍情報

球參情報電三七八七號

海軍偵察機ノ情報ニ依レバ二二五「サイパン」

西方一〇哩ニ敵水上艦艇ヲ發見ス約二〇一〇〇

隻ニシテ進路三三〇度 速力一八ノット

平

二月十五日

木曜日

午前中ハ偽裝班ノ作業ニ連繫シ全員ヲ以テ偽裝

雨

一六〇〇左ノ軍情報ヲ受領ス

球參情報電三三八九號

一海軍索敵機ノ偵察ニ依レバ十五日正午頃硫

黃島基貞一六〇度ニ〇。哩ニ水上部隊發見

大型艦ナルモ艦種不詳進路三〇〇度速力一八ノット

新作業部署ニ依リ作業開始ス來坑道掘進ハ概ネ

順調ニ進ミツツアルモ右分隊掩砲所ニハ運搬セル火砲

ヲ收容セル爲能率低下セリ又左分隊掩砲所ハ土質

甚ダシク不良ニシテ落盤著シク大断面ノ坑道掘進

ニハ適マザラテ通常坑道トシテ棲息掩敵部トナ

ス如ク決心ヲ變更セリ

然レドモ一方偽裝ニハ獨立セル偽裝班ヲ編成シテ之ガ

向上ヲ期セル所其ノ畫期的促進向上ヲ圖ルヲ得着々成果ヲ擧ゲツツアリ

二月十六日

○九〇〇中隊長ハ八重山嶽支隊本部ニ赴キ情勢ノ近迫ニ伴フ海軍砲台ノ運用ニツキ支隊長ニ意見具申シタル後一四〇〇歸隊ス

雨

船砲台一八〇〇伊豆味ニ於テ伐採作業實施中ナリシ新井軍曹以下歸隊ス

二二〇〇外痔核ノタメ入院中ナリシ富田一等兵退院歸隊ス

河村中尉以下八一〇〇ヨリ左分隊砲架車ヲ運搬シ結合ノ上掩体内ニ收容ス

本日受領セル軍情報左ノ如シ
一 砲台戒警報(丙號戰備)解除

二〇九五〇

三 南西諸島全地區

四 第三十二軍司令官

二月十七日

各作業場共前日ノ作業ヲ續行ス
土曜日 一〇〇〇中隊長ハ屋比久原海軍砲台ノ指導ニ到リ

雨

船砲台

海軍砲台ハ砲身到着セザル爲砲架ノミ拵付完了セルモ掩蓋ヲ冠スル能ハズ彈藥庫博息掩蔽部ヲ増強中ナリ

連日ノ降雨ニテ滿石ノ勝鬨峠道泥濘化セル爲諸材料ノ自動貨車ニヨル運搬不能ニシテ彈藥ノ運搬澁滞シアリ

晝夜兼行掉尾ノ勇ヲ擧ヒテ陣地完成ニ邁進中ニ

シテ一同頗ル志氣旺盛ナリ

本日受領セル軍情報左ノ如シ

球參情電第 三九六號

一十七日夕ニ於ケル敵情判断

敵ハ硫黄島攻略ヲ企圖シアルハ明テカナルモ
 今次敵ノ作戦準備ノ模様、本土空襲ノ情
 勢ヨリ判断スルニ硫黄島ヲ一部兵力ヲ以テ
 攻略シツツ既ニ「マリアナ」方面ニ集中ヲ完了
 セル強カナル攻略部隊ヲ以テ同部隊轉用ト
 相俟テ連續的ニ南西諸島ニ大規模ノ進攻
 ヲ企圖スルノ算大ナリ

二依テ各部隊ハ事前準備ヲ嚴ニシ作戰準備
 完成ニ邁進スルヲ要ス

丙號戰備解除本日〇九五〇丙號戰備解除セラル

平

二月十八日 B 二月上旬以來殆ンド連日偵察ニ飛來シアリテ敵ノ

日曜日 新企圖ヲ豫察セシムルニ十分ナルモノアリ

晴 先日ヨリノ作業ヲ續行ス

船壑台 偽裝班ノ主力ハ右分隊位置ヨリ満名道ニ對スル環狀

偽道路ノ工事ヲ實施ス

現在員中隊長以下一〇二名

田中兵長以下三名連絡所ニ在リ

宮岡上等兵以下二名新行橋ニ在リ

山崎兵長支隊本部移轉ニ伴ヒ偵察隊トシテ

八重嶽麓ニ在リ

二月十九日 夜間作業ハ能率ヲ發揮シツツアリ

月曜日 満名ヨリ中隊ニ至ル本道連日ノ降雨ノ爲ニ泥濘著シク

船壑台 諸般ノ運搬意ノ如クナラズ

平

顧レハ昨早十一月ヨリ晴天少クシテ雨多ク一月約一週間
内外晴天タリシノミニシテ陣地構築ニ甚カラザル影
響音ヲ與ヘタリ

二月二十日 連日ノ雨天ニモ関ラズ徵傭勞務者ノ出席率ハ七〇%
火曜日ノ良況ニシテ戦局ニ對スル認識ノ一新セルヲ規知セ
雨 ラレ且作業能率向上シツツアリ

船産台

築城作業末期ニ至リテ最モ腐心スルハ偽装
ノ一事ナリ偽装特ニ永久的偽装ハ簡易ニ至
短時日ニハ之ヲ完了スル能ハザルヲ以テ作業
着手ノ當初ヨリ將來ヲ豫察シ偽装ノ着
意ヲ以テ工事ヲ進ムルヲ要ス
制空權敵手ニ在リテ隨時空中ヨリ搜索セ
ラル可能性多キ場合ニ於テ特ニ然リ

作業ノ着手ニ方リ不用意ニ漫然ト附近ヲ伐採
又ハ掘開セザレユト及作業ノ進捗ニ伴ヒ適宜
偽装ヲ併行セシメ作業完成ト偽装完成ハ同
時機ナラシムル如ク着意スレテ肝要トス
然ウシテ作業ノ當初ヨリ小數ノ人員ヲ以テ獨
立セル偽装班ヲ編成シ偽装章紀ノ監察指導
所要ノ統制及偽装作業等ニ任ゼシムルヲ得
ハ有利ナリ



二月二十日

水曜日

船産台

一敵ニ前日ヨリノ作業ヲ續行ス
一〇五二左ノ軍情報ヲ受領ス
一敵機動部隊ノ主力ハ十九日一二三七北緯
二〇度一〇分東經一四二度五〇分ニ測定セラル
爾後南西諸島方面ニ對スル策動企圖依

然警戒ヲ要ス

イ機動部隊主力ハ十九日一二三ニ短時間電波ヲ輻射セルモ爾後電波管制中

口依然マリヤナ方面哨戒機及レイテ局ヨリ氣象通信ヲ受ケアリ

ハ硫黄島方面策動部隊トノ關係特ニ密接ナラズ

本日後半夜ノ作業ハ之ヲ中止ス

二月二十日

偽裝班ハ偽道路ノ工事ヲ續行ス

木曜日

午後八一飯ニ作業ヲ中止シ休務ス

雨

現在員中隊長以下一〇二名

船窪台

田中兵長以下三名連絡所ニ在リ

宮岡上等兵以下二名新行橋ニ在リ

山崎兵長支隊本部移轉ニ伴ヒ伐採隊トシテハ重嶽林麓ニ在リ

二月二十日

〇九二〇中隊長ハ眞部山第一歩兵隊第二大隊本部ニ

金曜日

赴キ駐屯地隊長會議ニ出席ス

雨

一飯二前日ヨリノ作業ヲ續行ス

船窪台

現在員中隊長以下一〇二名

前日ニ同シ

二月二十日

一四〇〇中隊長ハ連絡ノ爲ハ重嶽國頭支隊本部ニ

土曜日

赴ク

一飯二前日ヨリノ作業ヲ續行ス

船窪台

雨

二月二十五日 〇〇〇受領セル軍情報左ノ如シ
日曜日 球參情報四〇七號

船空台 晴
一監視船ヨリノ情報ニ依レバ本二十四日二二五北緯三〇度東經一四五度A三B三C五等西進中時速二〇哩

土山曹長以下四名初年兵受領ノ爲那霸大隊本部ニ向ヒ出發ス

一敏ニ前日ヨリノ作業ヲ續行ス

平

二月二十六日 高田准尉第二歩兵隊援助ノ爲邊上石ニ赴キシ所
月曜日 前車輪パンクシ修理ノ爲大宜味ニ宿營ス

晴 一敏ニ前日ヨリノ作業ヲ續行ス

船空台

二月二十七日 一敏ニ前日ヨリノ作業ヲ續行ス

火曜日 一三一五項ヨリB21機當隊上空ヲ西方ヨリ通過偵察

晴 後東方ニ去ル高度七〇〇

船空台 高田准尉ハ自動偵察車ノ修理終リ二一〇〇歸隊ス
軍情報 二二〇〇左ノ軍情報ヲ受領ス

球參情報第四一〇號

一廈門情報ニ依レバ二十八日以降在支及太平洋方面米空軍ハ本土及南西諸島、台湾ノ爆撃ヲ企圖シアルモノノ如シ(確度乙)

二月二十八日 一敏ニ前日ヨリノ作業ヲ續行ス

水曜日 一〇五五左ノ軍情報ヲ受領ス

晴 球參情報第四一二號

船空台 二十八日〇九一〇項ヨリB21機沖繩本島ヲ綿

軍中日誌

陸

電

密ニ偵察中球參情電第四〇號ト關聯シ
各隊ハ警戒及戰鬪準備ヲ嚴ニスベシ

又方振リニ快晴トナリシガ敵ノ空中偵察亦活潑化シ
何等カノ新企圖アルヲ思ハシム

一八〇ヨリ下士官以上内務會報ヲ實施シ初年兵教
育三月ヨリノ人員部署等ニツキ中隊長ノ企圖ヲ明
示サル

月末ニ於ケル陣地構築狀況左ノ如シ

今月モ先月ニ引續キ殆ンド連日ノ降雨並ニ杭木不
足ノ爲陣地作業進捗意ノ如クナラズ連日連夜

ノ作業ニモ閑ラズ下旬完成豫定ナリシ陣地ハ之ヲ
完成スルニ至ラズ

火砲ノ射撃ヲナスニハ先ヅ支障ナキ程度ニ至リ
シノミ

放列陣地

右分隊 掩砲所放列砲車ノ收容可能掩護層十五
米程度トナル

掩体ヨリノ通氣孔ハ未ダ完成セズ

左分隊 掩砲所ハ掩蓋ノミニテ未ダ洞窟ニ入ルヲ得
ズ砲車位置ガ掩砲所ヲ兼ヌル恰好トナリ

タリ土質甚ダシク不良ナルタメ崩壞著
シク遂次縦匡ヲ進メ且倒壞ノタメ再建ヲ

ナス等ニヨリ遲延マリ

觀測所

戰砲隊 棲息掩蔽部本体ハ後十米ニテ貫通完成ス

放列位置

觀測所ハ觀測孔一ヲ有シ棲息ノ設備ヲ行ハハ
完成スベキモ戰鬪ニハ支障ナキ程度ニ至リタリ

附中日誌

人員用棲息掩蔽部
洞窟炊事場ノ作業實施
中ナリ

頁